

日時:2012 年 3 月 24 日(土)17:37 – 19:50

場所:関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス YE 会場

司会:領域 2 代表 安藤

書記:幹事 田村

出席者:安藤, 米田, 菊池, 重森, 井, 荒巻, 三好, 田村, 蓮尾, 出射, 永岡, 宮戸

2012 年 3 月 25 日の運営会議の議事次第確認しつつ、以下の事を議論、決定した。

1. 2012 年 10 月からの新役員体制及び役割分担について

以下の方々が、2012 年 9 月で役員任期終了となる。

役員	重森啓介	大阪大学
役員	井 通暁	東京大学
役員	荒巻光利	名古屋大学

新役員候補として以下の方々を推薦したいとして承認をお願いすることとした。

岡本 敦	東北大学
東口武史	宇都宮大学
横井喜充	東京大学生産研

2012 年 10 月から(2013 年 3 月まで)の役員体制(案)は以下の通り。

領域代表	安藤 晃	東北大学
領域副代表	米田仁紀	電気通信大学
領域前代表	菊池 満	日本原子力研究開発機構

○(2012.9 まで領域委員、2012.9～2013.9 まで役員)

役員	三好隆博	広島大学
役員	田村直樹	核融合研
役員	蓮尾昌裕	京都大学

○(2012.4 から領域委員、任期は 2011.9～2014.9)

役員(領域運営委員)	出射 浩	九州大学
役員(領域運営委員)	永岡賢一	核融合研
役員(領域運営委員)	宮戸直亮	日本原子力研究開発機構

○(2012.10 から領域委員、任期は 2012.10～2015.9)

役員(領域運営委員)	岡本 敦	東北大学
役員(領域運営委員)	東口武史	宇都宮大学
役員(領域運営委員)	横井喜充	東京大学生産研

2. PLASMA2011 について

- 参加者数、講演数などの最終報告について報告があった。
- 同報告については、領域会議においても報告予定である。
- 物理学会領域 2 が幹事学会となる次回の PLASMA2014 について、議論があった。
 - 次回(2014 年)のプラズマカンファレンスは物理学会領域 2 が幹事学会と成らざるを得ない
 - その開催場所、開催時期、運営方法などについて議論した。開催場所については、会議開催に対する助成金がある場所を優先的に候補地とすることとし、そのリストアップを進めることとした。

3. 2012 年秋季大会案内とシンポジウム、招待・企画講演の提案について(安藤)

- 2012 年秋季大会のスケジュールについて確認した。
- チュートリアル・招待講演, シンポジウムの申込〆切(5 月 14 日(月))は一般講演のそれ(5 月 27 日(日))よりも早いので注意を喚起することとした。
- 今回, 1)キーワードが以下のように変更になっていること, 2)追加申込ができるようになったことを確認した。

(15)【旧】高エネルギー密度プラズマ物理

↓

(15)【新】高エネルギー密度物理

(34)【新】慣性閉じ込め核融合(レーザー核融合, 高速点火等)

↓

(34)【新】慣性閉じ込め核融合(レーザー核融合等)

(37)【旧】高強度レーザー生成プラズマ(相対論プラズマ, 輻射輸送を含む)

↓

(37)【新】高強度レーザー生成プラズマ(相対論プラズマ, 高エネルギー光子輸送を含む)

3 月 24 日時点で提案されている企画(チュートリアル)講演, 招待講演, シンポジウムについて説明があった。

- チュートリアル講演:「高エネルギー粒子とグローバル MHD モードとの相互作用研究の最前線」東井先生(核融合研)(提案者:市村真先生)
- 招待講演:「光科学の導入によるプラズマ研究の新しい展開」荒巻光利先生(名大)(提案者:田中雅慶先生(説明者:吉村信次先生))
- 招待講演:「コンプレックスプラズマ研究の進展と展望(仮)」石原修先生(横国大)(提案者:安藤晃先生)
- シンポジウム:負イオン科学の新展開-負イオン先生の物理とその応用技術-(提案者:安藤晃先生)

まだ〆切までは時間があるので, 引き続き募集している旨案内することとした。

4. 学生優秀発表賞について

- 運営会議ではまだ審査中なので簡単な実施要領についてのみ説明することとした。
- 2012 年秋季大会でも実施するので積極的に応募して頂くようお願いすることとした。

5. プラズマ宇宙物理 3 学会合同セッションについて

- 3 月 19 日(月)~22 日(木)で開催された第 6 回 3 学会合同セッションは常に 80 人から 100 人程度の聴講者があり, 大盛況であった。
- 非常に前向きな意見が多いなどの理由から, 今後(3 巡目)も 3 学会共催セッションを継続することを承認して頂くこととした。
 - 継続の場合、2013 年 3 月 26 日(火)~29 日(金)で開催される第 68 回年次大会 @広島大学東広島キャンパスでの開催となる。
 - 井さんの代わりの担当役員としては, 新しく役員になる横井さんの予定。
- 共催セッションの組み方について, 先方よりパラレルセッションはやめて欲しいという強い希望があり, それについてどう対応するか議論した。
 - 領域 2 のみ会期を延長する?
 - ポスター発表を実施する?
 - トピックをあらかじめ決めて講演数を限定する?
 - インフォーマルミーティングを活用する?

6. 若手奨励賞(第7回(2013年))選考について

- 同賞の選考委員会委員長が核融合研の居田教授であることについて確認した。
- 積極的に応募して頂くようお願いすることとした。

7. 物性分野領域の略称・表示に関する提案について

略称名の提案(5文字まで):プラズマ

キーワード(24文字まで):「プラズマ科学・核融合プラズマ・プラズマ宇宙物理」(23文字)

アルファベットによる表記の検討・報告・登録:JPS_DPPもしくはJPS_PLASMA

- 上記提案について再度、運営会議で意見を募集し、ある場合は安藤さんに連絡してもらうこととした。

8. APS, EPS, GDC などへの One Voice 推薦の件

- 既にメーリングリストで案内している通りであり、積極的に応募して頂くようお願いすることとした。
- One Voice 推薦のこれまでの結果について簡単に報告があり、今後の進め方について議論があった。

9. その他

日本学術会議報告について九大の伊藤早苗教授が紹介する予定であり、AAPS については菊池さんが紹介する予定である。

以上